

ひとり なや
一人で悩まないで

がっこう とも かぞく
学校、いじめ、友だち、家族のことなどで

しんぱい ふあん
心配なこと、不安なこと、

くる
苦しいことがあれば

ひとり なや そうだん
一人で悩まずに、相談してください。



ほうむしょう こ じんけん ばん
法務省 子どもの人権110番

ぎゃくたい こ じんけんもんだい かん
「いじめ」、虐待など、子どもの人権問題に関する
せんようそうだんぜん わ
専用相談電話です。

☎0120-007-110

ぜんこくきょうつう つうわ わりよう
(全国共通・通話無料)

■ 受付時間

へいじつ 8時30分～午後5時15分
平日午前8時30分～午後5時15分

インターネットでの相談も受け付けています。

詳しくは、

子どもの人権110番 検索



おおさかきょういく
大阪府教育センター

「すこやか教育相談」
すこやかホットライン

(子どもからの相談)

☎06-6607-7361

FAX: 06-6607-9826

Eメール: sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

■ 電話相談

月曜日～金曜日
午前9時30分～午後5時30分
(祝日、年末年始は休みです)

■ Eメール相談・FAX相談

24時間窓口設置
(ただし、回答は後日)



第39回人権啓発

詩・読書感想文募集

こころにひびけ わたしのおもい



主催／大阪府・大阪府教育委員会・人権啓発推進大阪協議会(愛ネット大阪)



第39回 人権啓発詩・読書感想文募集要領

(主催/大阪府・大阪府教育委員会・人権啓発推進大阪協議会(愛ネット大阪))

対象

大阪府内在住・在学の小・中学生、支援学校小・中学部生

募集作品

(1)テーマ

人権の尊さやお互いの人権を守ること、差別のない明るい社会を築くことの大切さや平和の尊さを訴えることなどを内容とするもの

(2)条件

●詩部門

形式、長さとも自由

●読書感想文部門

- 小学校(小学部)低学年の部
400字詰め原稿用紙 3枚以内
- 小学校(小学部)高学年の部
400字詰め原稿用紙 3枚以内
- 中学校(中学部)の部
400字詰め原稿用紙 5枚以内

※作品の冒頭には作品名、学校名、学年、名前を明記してください。

※詩部門と読書感想文部門の両部門に応募可能ですが、各部門とも1人1編に限ります。また、未発表の作品に限ります。

募集期間

令和2年8月3日(月)～9月25日(金)

応募方法

応募票を添付して、大阪府府民文化庁人権局に提出してください。
郵送の場合は、封筒に「人権啓発詩・読書感想文」と明記してください。

表彰

- 詩部門・読書感想文部門のそれぞれについて、小学校(小学部)低学年の部、小学校(小学部)高学年の部、中学校(中学部)の部別に入選作品を選定し、表彰します。
- 表彰式は 令和3年1月31日(日)を予定しています。
- 入選者には、賞状と副賞(図書カード500円分)を贈呈します。

その他

- 応募作品は、返却しません。
- 審査の結果は、学校を通じて入選者に対し連絡します。
- 入選作品は、入選作品集や人権啓発紙・誌への掲載等、人権意識の高揚を図るために活用させていただきます。(名前等の公表の可否については、事前に確認します。)

応募・問い合わせ先

大阪府府民文化庁人権局人権企画課教育・啓発グループ
〒559-8555 大阪市住之江区南港北一丁目14番16号
大阪府咲洲庁舎38階
TEL 06-6210-9281 / FAX 06-6210-9286

第39回 応募票(詩の部門)

整理番号 (記入不要)	
作品名	ふりがな
住市町村名	
名前	ふりがな
学校名	所在地市町村名 () () 学校 学年 () 年

第39回 応募票(読書感想文の部門)

整理番号 (記入不要)	
作品名	ふりがな
住市町村名	
名前	ふりがな
学校名	所在地市町村名 () () 学校 学年 () 年
図書名等	図書名 () 著者名 () 発行所名 ()

第38回 入選作品より

きてくれて、ありがとう

豊中市立東豊台小学校一年(当時)
上村 柚心

ぶつだんをあけてみたら、
ほどけさまのおじいちゃんが、
「きてくれて、ありがとう。」
といました。

ゆしんのかおをみれて、うれしいわ。
ひとりですんでいるおぼあちゃんが
「きてくれて、ありがとう。」
といました。

なつやすみに、ばばがいました。
ままは、ぼくがうまれたとき、
「きてくれて、ありがとう。」
といました。

さいたまのおねえちゃんがやってきて、
ずっといつしよにすごしました。
くうこうでおねえちゃんががえるとき、
「たのしかったよ。ありがとう。」
といました。

みんな、みんな、
「ありがとう。」
といてくれたよ。

それが、うれしくて、うれしくて、
ぼくもみんなに、
「ありがとう。」
といたよ。

心の天気と言葉の天気

枚方市立殿山第一小学校 五年(当時)
平岡 遥美

心にも、言葉にも、実は天気がある
うれしかったらあはれ
かなしかったらあめ
それと同じで
やさしく声をかけてくれたらあはれ
いやな言葉をかけられたらあめ
ほう力も
言葉のいじめも
それは、どしゃぶり
空の天気はかえられない
だけど、心と言葉の天気は
かえられる

自分の心ははれていたら
少しだけいいから、はれを使い言葉にして
「だいじょうぶだよ。」
声をかけてあげよう
その一言ではれるから
あめあがりのはれた空を見ると
にじが見えることがあるけど
言葉も心も同じ
にじ色の言葉をかけると
心がにじ色にそまる
一言だけでもいいから
その、にじ色の言葉をかけてあげよう
いつか
みんなの心がにじ色にそまることをねがって

それが、うれしくて、うれしくて、
ぼくもみんなに、
「ありがとう。」
といたよ。

第38回(昨年度)表彰式の様子

- とき
令和2(2020)年1月19日(日)
- ところ
ホテルプリムローズ大阪



詩の部門399点、読書感想文の部門220点、
合計619点の応募があり、23点を入選作品
として表彰しました。